

学校だより



平成26年12月2日

横浜市立二谷小学校
校長 渡邊 文子

手作りの絵地図

学校長 渡邊文子

街を美しく彩った木の葉が風に舞い始めました。いよいよ師走。一年が過ぎるのは本当にはやいものです。

11月に行ったふれあい給食には50名を超える地域の皆様にご参加くださり、子どもたちも楽しい会食の時間を過ごすことができました。

その時、高木均様が手作りの「大正時代の二ッ谷通りの町のように」と題した絵地図を持ってきてくださいました。四つ切画用紙2枚にまとめられた地図には、読みやすい文字で大正の頃の平川町の商店名が書かれ、所々に説明の言葉も添えられています。商店の多さや、「馬蹄所」「立場」等の当時の暮らしが伝わってくる言葉を発見して、時を忘れて見入ってしまいました。

高木様によれば、二谷の昔を記憶していच्छる方のお話を参考にして何十年も前に作られた絵地図があり、そのコピーをもとに2週間がかりで描き直してくださったとのこと。また、ご自身が収集されていた二谷の歴史に関する広報等の記事も付け加えてくださったとのこと。

「給食に招いていただいたお礼に何かできないかと考えて、作ったんですよ。」

と、たいへん有難いお言葉も頂戴しました。地域の歴史学習で教材として使うことのできる素晴らしい手作りの資料。子どもたちへの愛情のこもった資料を大切に活用させていただきたいと思えます。

さて、11月28日には、横浜市内はもとより他県からの参観者もお迎えして国語科の研究発表を行いました。折しも、国からは次期学習指導要領に向けた「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」の諮問が示され、主体的・協働的に学ぶ学習の重要性も指摘されました。

これまで、子どもたちが学習で輝く姿を目指して授業研究を行ってきました。今後も、講師の先生や参加の皆様からいただいたご意見をもとに、さらに学び続けていきたいと考えています。当日は保護者の皆様にもご参観いただくとともに、PTAの皆様には道案内等でお世話になりました。ありがとうございました。

